

公益財団法人庭野平和財団

平成 25 年度（2013 年度）
事業計画書

[事業部門]

I. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究を推進する事業

宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究を推進する宗教組織および市民組織を支援し、その活動の質的向上とその活性化を図る。

1. 宗教的精神にもとづく平和のための活動に関する社会調査・資料収集事業

宗教組織および市民組織が行う平和のための活動に関する社会調査・資料収集を行い、その結果を公表する。

(1) 社会調査「宗教団体の社会貢献活動に関する調査」の実施

今年度は実施しない。(4-5年の間隔を持って実施する。)

(2) 過去2回の社会調査結果の検討・研究

関係者、関係団体との共同研究を検討する。

(3) 情報・資料収集

A. 世界教会協議会世界大会への参加、調査、情報収集：

a. 期間：平成25年10月30日-11月8日

b. 開催地：韓国・釜山

c. 概要：全世界のキリスト教指導者（主として、プロテスタント）が参加する7年に一度の世界大会。とりわけ、「9条アジア宗教者会議」ならびに「原子力に関する宗教者国際会議」の成果がどのように世界のキリスト者に向け発信されるか、また参加者の反応に注目したい。

B. 九条アジア宗教者会議の情報収集

a. 期間：平成25年度中

b. 開催地：東京か韓国・ソウル

c. 概要：国際ワーキンググループの設立と第1回会議を実施予定。国内外の10名程度の宗教者が参加予定。

C. 日韓宗教者フォーラム主催、人材育成プログラムに関する調査、検討

a. 期間：平成25年度中

b. 開催地：日韓両国にて開催予定。

c. 概要：昨年のプログラムが韓国側の事情により延期されたが、その後、指導的役割を果たした人物の死去ならびに環境の変化により、予定された日韓交流プログラムは実施されなかった。その間、双方より日韓交流プログラムの内容についての検討が提案されており、今年度は、プログラムの内容を人材育成プログラムとして、その内容を調査、検討する。

2. 普及啓発事業

公益目的事業（庭野平和賞の事業と助成事業）の成果を、宗教組織および市民組織の関係者を主たる対象に、セミナー、シンポジウムの開催により普及啓発する。そのことにより宗教組織および市民組織の人材の育成、専門知識の取得および組織の活動の充実を目指す。

(1) GNH, 地元学とエネルギー自給に関する現地学習、シンポジウム

A. 葛巻町スタディツアー

- a. テーマ：「GNHとエネルギー・環境問題」をめぐって」（仮称）
- b. 期 間：平成25年6月末（予定）
- c. 概 要：GNH、エネルギー・環境問題に関心のあるNGO/NPO関係者、宗教者、研究者15名程度が参加予定。葛巻町の「地元」における諸問題の中から、この地域の地域再生とエネルギー・環境問題について学ぶ。

B. 庭野平和賞30周年記念シンポジウム開催

- a. テーマ：「未来社会のための新しいパラダイム」（仮）
- b. 日 時：平成25年10月23日（水）- 24日（木）
- c. 会 場：海外特派員協会（FCCJ）（東京・有楽町）
- d. 概 要：基調講演者は二名。ブータン国情報大臣でGNHの考え方を世界に伝えているダショー・キンレイ・ドルジ氏（一日目）、および立教大学教授で哲学者の内山節氏（二日目）が内定。内容は基調講演、パネルディスカッション、質疑応答。GNH、地元学など「人間と来るべき社会」に関心のあるNGO/NPO関係者、宗教者、研究者100名程度が参加予定。過去の平和賞受賞者や平和賞委員も参加の予定。

(2) 京都シンポジウム（一般公開）

- a. 日 時：平成25年5月18日（土）午後1時～4時
- b. 会 場：京都市立国際交流会館
- c. 概 要：第30回庭野平和賞受賞者による基調講演後、受賞者、宗教者、学術経験者によるパネルディスカッション、質疑応答。

(3) 「東アジア平和フォーラム」研究会の開催

(4) 「現代世界の危機における宗教と宗教研究の役割」（NPFプログラムで継続助成－2009年終了）の研究結果出版（書籍名：「宗教と宗教学のあいだ」10月に上智大学出版会より発刊予定）および発表会を開催する。

（昨年度予定していたが、英文原稿の日本語訳の遅れのため、出版・発表が出来なかった。）

(5) BNN（仏教者NGOネットワーク）活動の促進

平成24年度に作成した「減災・防災」ハンドブックの配布および普及。

(6) ウェブサイト、E-mail等を利用した情報公開

II. 宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究に功績のある者に対する褒賞

宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究を通して、人びとの幸福と平和な社会づくり、ひいては世界平和の推進に顕著な功績をあげた個人、または団体を表彰し、その業績を国内外のメディアを通じて世界的に広報する。

1. 庭野平和賞

(1) 第30回贈呈式・記念講演・レセプション

- a. 日 時：平成25年5月16日（木）午前10時30分～午後1時30分
- b. 会 場：国際文化会館
- c. 概 要：第30回庭野平和賞贈呈、祝辞、受賞者による記念講演、レセプション。
- d. 参加者：グナール・スタルセット師（第30回庭野平和賞受賞者）、財団関係者、宗教関係者、学術経験者、市民活動関係者、マスコミ他、約150名参加予定。

(2) 関連行事

平成 25 年 5 月	15 日	立正校成会訪問
	17 日	庭野平和賞執行委員会、指名委員会、理事長対談
	18 日	京都シンポジウム

(3) 平成 25 年度の予定 (第 31 回受賞者選定、第 32 回候補者受付及び審査他)

平成 25 年 4 月	第 31 回一般推薦による候補者第一次審査
平成 25 年 5 月	第 31 回一般推薦による候補者第二次審査 庭野平和賞執行委員会、指名委員会
平成 25 年 6 月	庭野平和賞委員会委員へ推薦書送付
平成 25 年 8 月	庭野平和賞委員会委員からの推薦締め切り
平成 25 年 10 月	庭野平和賞委員会にて第 31 回受賞者決定、調査、内示
平成 26 年 2 月	第 31 回受賞者公式発表 第 32 回候補者一般推薦締め切り

2. 庭野平和賞委員会

庭野平和賞選考のための上記日程による会議の開催。

III. 宗教的精神にもとづく平和のための活動及び研究に対する助成

人びとの幸福と平和な社会づくり、ひいては世界平和の推進を目指した宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究へ資金助成を行う。

1. 公募による助成

(1) 助成総額 10,000,000 円

(前期)	募集期間	平成 25 年 3 月 15 日～4 月 30 日 (必着)
	選考委員会	平成 25 年 6 月下旬
	助成期間	平成 25 年 8 月から 1 年間
(後期)	募集期間	平成 25 年 7 月 1 日～8 月 13 日 (必着)
	選考委員会	平成 25 年 9 月下旬
	助成期間	平成 25 年 11 月から 1 年間

(2) 公募助成小委員会

石川治子 (委員長)、茅野俊幸、福澤郁文、秀島くみこ、下澤嶽、工藤律子

2. 非公募による助成事業 (NPF プログラム)

(1) 助成案件 - NPF プログラム助成小委員会にて審議、採択した案件。

- A. 「地域の“縁”と NGO におけるファンドレイジング」2 年目
 - a. 申請団体：(特活) 国際協力 NGO センター (JANIC)
 - b. 申請額：3,000,000 円

(2) NPF プログラム助成小委員会

星野昌子 (委員長)、川北秀人、浅見靖仁、藤田浩一郎、木山啓子、熊岡路矢、野口陽一

(3) 今後委員会に上程予定の案件

A. 東アジア人材育成プログラム

3. 指定寄付による助成

(1) 南アジアプログラム - 立正佼成会一食平和基金からの指定寄付により実施。

A. 評価事業 - 本プログラムに対する評価事業の実施。

4. 助成委員会の開催

「助成委員会規程」にもとづき、助成委員会を開催し、助成事業全体の方針、各小委員会の運営他、助成事業に関する重要事項を検討する。

[法人運営部門]

I. 総務

1. 法務に関する業務

(1) 内閣府との連絡、交渉及び登記事務他

2. 会議に関する業務

(1) 理事会、評議員会、諸会議の運営及び記録他

3. 監査に関する業務

4. 文書管理に関する業務

(1) 各種文書の作成、提出、管理及び保管他

5. 人事及び福利厚生に関する業務

(1) 勤怠管理、安全衛生及び福利厚生他

6. 庶務に関する業務

(1) 什器備品、不動産、印刷物、公印等の管理他

(2) その他どの部門にも属さない事項の処理他

II. 財務

1. 資産運用及び管理に関する業務

2. 経理、会計、記帳計算に関する業務